

健康支援学

科目ナンバ 4A111
総合基礎 選択 2単位

坪島 功幸

1. 授業の概要(ねらい)

本授業のねらいは、健康課題に関心をもち、積極的に関る思慮深い市民になることです。
ディプロマポリシー①「外国語や人文・社会科学を始めとする基礎的な教養を身につけ、社会生活に役立てることができる」に該当する科目です。

2. 授業の到達目標

テキストの課題を批判的によみ、自分の考えを表現することを授業の目標とします。
具体的には、サブテキストの課題に答えることができるようにすることです。

3. 成績評価の方法および基準

2回の課題レポートに合格したうえで、最終試験100点で評価します。
授業のフィードバックは、課題レポートを返却することで行います。

4. 教科書・参考文献

教科書

山崎喜比古 新・生き方としての健康科学 ISBN978-4-8420-6589-2
有信堂高文社

5. 準備学修の内容

事前学修として、関連する新聞記事を1事例以上読みノートにまとめてください。15時間
事後学修として、サブテキストで指示され専門用語を整理し具体例をノートにまとめてください。15時間

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 健康・社会・生き方 ①
- 【第2回】 ヘルスリテラシー
- 【第3回】 ヘルスシステム 医療における行動と選択
- 【第4回】 食生活と健康
- 【第5回】 身体 運動 睡眠 と健康
- 【第6回】 薬 薬物 感染症
- 【第7回】 心と身体の病気 口腔保健 ストレス
- 【第8回】 生活の場(学校、家庭、職場、地域)と健康
- 【第9回】 国境を超える人の移動と健康
- 【第10回】 環境問題と健康
- 【第11回】 性と健康
- 【第12回】 病・障害と健康
- 【第13回】 老い・死と健康
- 【第14回】 先端医療と医療に関わる社会のルール(生命倫理)
- 【第15回】 健康・社会・生き方について ② 第1回との比較